

シート式バックシールド工法

日本メンテナンス工業会表彰「メンテナンス技術賞」を受賞

当社の「シート式バックシールド工法」が、第3回日本メンテナンス工業会表彰「メンテナンス技術賞」を受賞しました。2019年6月6日（木）に如水会館で表彰式が行われ、工法の開発に携わった企画開発部の浜田宏昭さんが表彰盾を授与されました。

2016年度から始まった当表彰制度は、同会がプラントメンテナンス業全般の発展、メンテナンスに関わる技術・技能、人材育成および社会への貢献等において顕著な成果を収めたと認定された企業、個人の業績を表彰する制度であり、今回は『メンテナンスマイスター賞』に4名、『メンテナンス技術賞』に4名、『メンテナンス奨励・普及賞』に4名が選出されました。

「シート式バックシールド工法」は、配管や機器の溶接にバックシールドガスを必要とする場面で、遮蔽物であるシートと固定用のゴムチューブで構成されるジグにエアーを入れて膨らませ、内部を密閉することにより局所的にシールドガス雰囲気を保持することを可能にした工法です（特許第4263021号）。ジグは軽量で容易に取り付けることができ、穴径40mmから取り出すこともできるので、作業性に優れています。また、容器内の圧力が多少変動しても安定したバックシールドが可能であり、密着性を長時間（数日）維持することができます。これまで、LNG配管工事や槽閉止工事等に適用しております。なお、本工法の紹介記事は高田技報15号および27号に掲載しております。

7月に開催されたプラントメンテナンスショーで実機展示した際も、ご来場いただいたお客様から「ぜひ使ってみたい」とご好評いただきました。今後も溶接施工における工法・ジグの開発を更に進め、お客様の設備の建設・保全に大きく貢献できるように努めてまいります。



配管工事での適用



当社出席者の記念撮影

（写真：右から4番目が浜田さん）